

西濃に広がる

あったかい

言葉かけ

西濃教育事務所 教育支援課 学校地域連携係
令和3年11月 第2号

「やってあげる前に聞いてみよう。」

理科でちょうを育てていました。休み時間、わたしがその場にいないときに、わたしの幼虫のお世話を友達がやってくれようとしたそうです。でも、わたしが自分でお世話したいかもしれないと、私の気持ちを聞きにわざわざ来てくれました。やってくれるのもうれしいですが、自分でやりたかったので、その前にわたしにやりたいか聞きに来てくれた友達の気づかいがとてもうれしかったです。わたしも、やってあげる前にその子の気持ちを考えるようにしたいです。

「ゆっくりいけばいいからね。」

旗当番の時に、一つの班だけ遅れてゆっくり来る班がありました。不思議に思っていると、一人の男の子が前と後ろにランドセルをかけ、一人の女の子をはさんで二人の女の子が手をつないでいました。「ゆっくりいけばいいからね。」とやさしく声をかけ、男の子はみんなを笑わせていました。その女の子は1年生の子で、まだ体力がなくて、遠くから長い坂を登ってくるのが大変だから助けてあげていることが分かりました。6人の小さな班でしたが、全員いやな顔をせず、笑顔でニコニコしているのを見て、やさしく見守ってくれているんだと、私も気持ちがポカポカしました。1年生の女の子も優しい上級生に見守られて、安心して登校できることでしょう。ありがとう。

(保護者より)

「すごいね。上手だね。」

ぼくは、工作が好きで、生活単元学習の「わかさ美術館」が楽しみです。作品が廊下に飾られるとたくさんの交流の子たちが、「すごいね。」「どうやって作ったの?」と声をかけてくれます。もともと作ることは好きだけど、声をかけてもらって嬉しくなって、もっと見てもらいたい気持ちになります。これからもどんどん作品を作りたいです。

「自信もっていいんだよ」

2年生になって先生と話したとき、「絵を描くのが上手だね」と先生が言ってくださいました。そんなことはないと言ったのですが、「上手なんだから自信もっていいんだよ」と言ってくださいました。ただ趣味で描いていただけのものが、先生のその一言で私にとっての趣味は得意なことになりました。そんな先生の一言は、「私なんて…」と思うたびに思い出して温かい気持ちになります。

「初めてなんだから大丈夫！ 間違えてもいいから自信もって！」

バレーボール少年団で、キャプテンになり、初めて活動するようになった時、(間違えたらどうしよう…)と自信がない様子に気づいたチームメイトに「初めてなんだから大丈夫！間違えてもいいから自信もって！」と言われました。その言葉を聞いてうれしかったし、こんな私でもキャプテンとしてやれることがあるのだと思えるようになりました。この言葉をきっかけに少しずつやることを指示できるようになり、キャプテンとして自信をもつことができました。

「あったかい言葉かけ県民運動」に西濃管内から応募いただいた作品より紹介させていただきます。

温かい気持ちを思う存分感じて
寒い時期を乗り越えましょう！